

「でんきと私」 静岡県立科学技術高等学校 2年 電気工学科 安倍 隼人

今年に入ってから電力の価格高騰が続いている。去年と比べ、1kwあたり4円も高くなっていて一ヶ月で二千円高くなる家庭もある。この原因として一つはウクライナ情勢による影響で、今の日本は石炭、天然ガスの発電に頼っているのでロシアからの供給が止まってしまうことにより、発電がしにくくなってしまふからだ。もうひとつは老朽火力発電所の休止の影響によるもので、2016年の電力自由化により大手電力会社が採算性の悪い発電所を維持するのが困難になったことが原因だ。

このような現状を抜けるためにはまず日本が石炭、天然ガスなどの化石燃料を使った発電から新エネルギーに早急に切り替えることが大事だと思う。日本には地形を生かした地熱や波力といった発電源が色々あるので、他国よりも比較的多く発電できるかもしれない。また、遠く離れたところから電力を送受電することのできる最新の電力網を導入するべきだと考えた。例えば長距離の海底電力ケーブルを各地域間で結ぶことで、片方の電力がひっ迫しているときにもう片方が迅速に電力を送ることでその影響を抑えることができ、結果的に電気料金の値上げを防ぐことができる。また海底を送電できるメリットを生かした洋上発電の導入も容易になるので、海底ケーブルの導入はとても良いことだと思う。しかし、それに伴う課題も当然あり、例えばケーブルを敷設したあとから長期にわたって損傷をせず信頼度を維持できることや、万が一の損傷時にも適切な復旧措置ができる目処があることなど様々ある。私も将来立派な電気のエンジニアになるために、このような課題も乗り越えることができるほどの心構えを持っておこうと思った。